

アイテム

アートな伊丹を
「観る・行く・体験」

アイテム

2015.10-12 秋号
公益財団法人
伊丹市文化振興財団
TAKE FREE

舞台公演が できるまでの エトセトラ

「シルビア・クラブ&今井清隆 with 大阪交響楽団
ミュージカル&シネマ」の場合

本で解決!
お悩み
相談室

マンガが好きですが
それは読書じゃないとママがいます。
何か読み始めにいいものはありませんか?

(大人になりたい小学生 Y)

明るく楽しいお悩み募集中 図書館南分館まで!



みなみさんの
オススメ本



本のことなら
おまかせ!
みなみさん

「緋弾のアリア」
赤松中学 / 著
(メディアファクトリー)

この本はほかご図書館くらぶで催したビブリアバトル(本の紹介コミュニケーションゲーム)でチャンピオンに選ばれた本なの。武力を行使する探偵「武偵」を育成する高校で繰り広げられるアクション&ラブコメもの。主人公の遠山キンジは遠山の〇さんの子孫だったりと面白そう。ライトノベルから入っていくのもありだと思うわよ!?

かんこちゃんの
オススメ本



「100%ガールズ
1st season」
吉野万理子 / 著
(講談社)



ぶんたくんの
お姉さんの
かんこちゃん

「ラノベもマンガと同じです!」とママに言われた時のために正統派も紹介しておくね。将来宝塚の男役を目指してる司真純(1人称オレ)が女子高のサッカー部に入って本当のカッコイ女子を目の当たりして成長する話よ。「マンガもラノベも日本の文化!」とカッコよく言えたらいいけどママには逆らえないわ…。

※ライトノベルとは10~20代の読者を想定した娯楽性の高い小説のことです

ラストホール1Fの図書館

伊丹市立図書館 南分館

南野2-3-25 ☎072-781-7333

アイテム

2015年10月1日発行(季刊秋号・通巻85号)

発行:公益財団法人伊丹市文化振興財団

編集・デザイン/平井和哉(0.1knot)

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3

いたみホール(伊丹市立文化会館)内

tel.072-778-8788 fax.072-778-8585

http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan/

e-mail itami-kikaku@bcb.bai.ne.jp



美術館 / 『鴨居玲 展』(10/31(土)~12/23(水・祝))
5組10名 ※締切 / 11月15日

プレゼント!
プレゼントをご希望の方は、ハガキまたはメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記、文化振興財団宛「アイテムプレゼント係」まで。当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

みやのまえ
文化の郷
美術館
工芸センター
伊丹駅前
柿岡文庫



ソリストたちは何を思う **Q&A**

Q 今回「大阪交響楽団」との初コラボとなりますが、どんなところに注目して観て聴いていただきたいと思われますか？

シルビア・グラブさん／普段出ているミュージカルの舞台ではなかなかオーケストラと歌うことはないで、たくさんの生の楽器で演奏される温かみ、深みある贅沢な音を堪能していただきたいです。もちろん私もしっかり堪能するつもりです！

今井清隆さん／この仕事をやっていて一番幸せを感じるのはオーケストラで歌わせていただくことと言っても過言ではありません。母親の胸に抱かれる子供のように音の魔法に包まれる感覚は一度経験したらやめられません！！

Q 今回のプログラムの中で、ご自身最高の「魅せどころ」はどんな部分でしょうか？

シルビア・グラブさん／今井さん含め今回のプログラムには代表作の名曲も入っています。舞台ではキャストが変わってしまったり、なかなか上演されていない作品の名曲を歌えるのはコンサートならではの！しかも大阪交響楽団の演奏とのコラボレーション。これは本当に幸せなことです。

今井清隆さん／シルビアとのデュエットで「闇が広がる」。滅多に聞けないというか、自分では考えも及ばなかった選曲。私もちょっと楽しみです。

Q 公演を楽しみに待っている伊丹市民に対してひと言お願いいたします。

シルビア・グラブさん／2015年のクリスマス時期を伊丹で過ごすのがとても楽しみです。皆様に素敵な時間を過ごせる最高のコンサートをお届けできるように頑張ります。当日お会いできるのを楽しみにしています。

今井清隆さん／ご来場下さる皆様と幸せなひと時を過ごせたら最高に嬉しいです。

シルビア・グラブ&今井清隆 with 大阪交響楽団 ミュージカル&シネマ

会場／いたみホール 大ホール
12月26日(土) 開演 15:00 (開場 14:30)
一般 4,500円 学生 3,000円 (全席指定・税込)
☎ 072-778-8788

シルビア・グラブ&今井清隆 with 大阪交響楽団 ミュージカル&シネマの場合



オーケストラ写真 ©飯島 隆

ミュージカル界 実力派スターによる 夢の競演が伊丹で

ミュージカル・映画音楽の名曲を、シルビア・グラブさんと今井清隆さんの圧倒的存在感と大阪交響楽団のうっとりするような音色でお贈りする豪華プログラム。お二人ともミュージカル界では知る人ぞ知る実力者。ハートで奏でる歌とオーケストラの競演で贅沢な時間へ誘ってくれる貴重な機会だ。そして指揮者には合唱指揮者としても信頼の厚い中村貴志を迎え、名作の数々をリード。また演目は「Beauty and the Beast(美女と野獣)」「ゴッドファーザー」「追憶」など、誰もが聞いたことがある曲が名を連ねる。

さて、今回はそんな素晴らしい公演の舞台裏に注目してみる。そもそも大阪交響楽団からイベント開催の打診があった際、ホルの事業担当者から「ミュージカルを取り入れては？」と伝えただとか。無類のミュージカル好きである担当者は公演の精度を高め、何よりお客さんに喜んでもらうため、自身のコレクションから演目などを洗い出し、大阪交響楽団に提案。オーケストラをバックにミュージカルやシネマの曲を歌い上げるソリストも決まり、9月現在、オーケストラによる編曲作業が行われている。さて、次ページ以降、裏方がどんな動きをしたのかを紹介する。

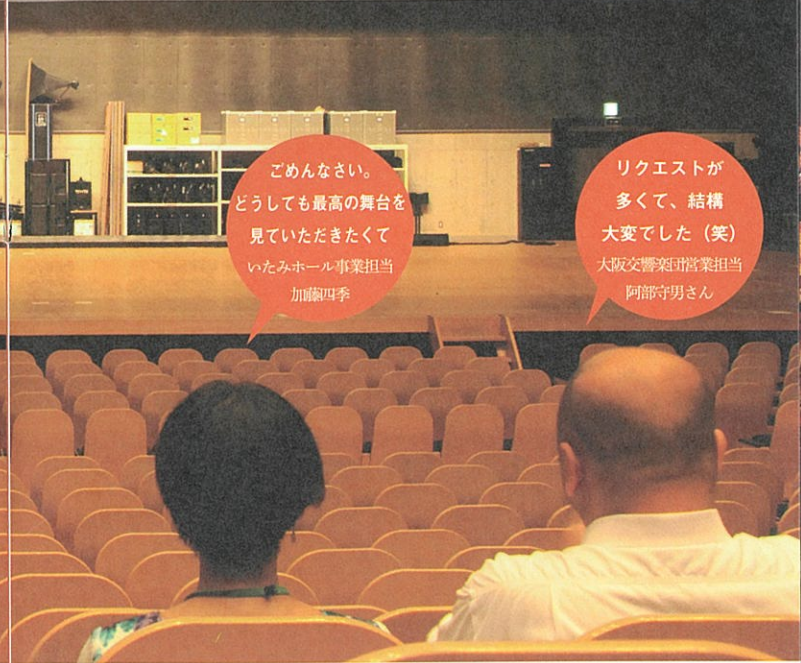
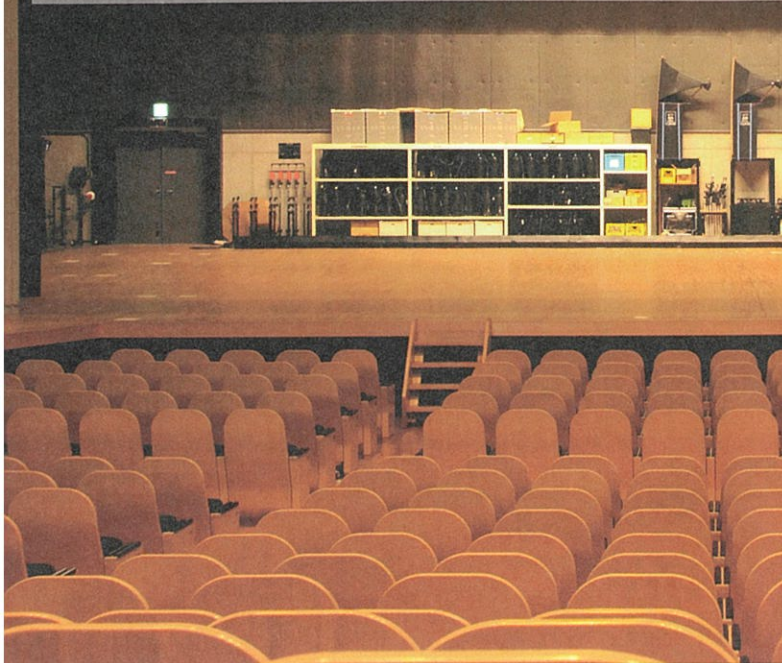
(文/O.1knot・平井和哉)

いたみホール事業担当と大阪交響楽団営業担当による

舞台の裏の、回想録

大阪交響楽団としても初の試みとなる今回の企画。

実現に向け、それぞれの担当の間にどんな企みがあったのか。
その舞台裏を聞いてみた。



ごめんなさい。
どうしても最高の舞台を
見ていただきたくて
いたみホール事業担当
加藤四季

リクエストが
多くて、結構
大変でした(笑)
大阪交響楽団営業担当
阿部守男さん

の正直な面から。
加藤 ごめんなさい…(笑)。
阿部 というか、これだけ知っている人がいないんですよ。すごいなあと思ってますよ。
加藤 ありがとうございます！
阿部さんは今のところの手応えはどうですか？
阿部 いやあ、指揮者に話したんですが、すごくおもしろそうだなって言ってましたよ。
加藤 うれしい！
阿部 本人も編曲することによる気満々でしたよ。というか「ここまでやるか？」って驚いてました。

阿部 オケのみんなも楽しんでくれると思いますよ。僕もミュージカルおもしろそうだなあって思うようになりました。
加藤 本当ですか！
阿部 指揮の中村さんは創作オペラを作ったり、ミュージカルもやっておられるので、見応えあると思います。
加藤 聴いたことのない人にこそ来ていただきたいですし、まず何よりこの値段(一般4500円)でミュージカル界随一の実力派の方々を聴ける機会は滅多にないのでぜひ！



阿部(大阪交響楽団) 最初はオペラの公演を伊丹でしてみたいというような話を加藤さんにしたんですよね。
加藤(いたみホール) そうです。最初はそこにミュージカルの曲もリストに入っていたんですよ。それならいっせ、ミュージカル俳優さんとは一緒にできないんですか？って聞いたんです。
阿部 僕がミュージカルを全然分かっていなかったんで最初は困りました(笑)。
加藤 じゃあ、このオケでどんな曲ができるかなってなった時、私が出した方が早いんじゃないかということになりました。そんな話の途中に出演していただける方も決まったので、基本は王道のミュージカル曲を中心に、お二人に合いそうな曲とか、出演された演目で、皆さんにぜひ聴いてほしいものを考えました。
阿部 妄想プログラムでしたね。
加藤(笑)。でもその中から阿部さんにいろいろ教えていただいて、2部構成にして間にトークを挟んで、前後半8曲ずつくらいじゃないかってアドバイスをいただいたんです。じゃあ、デュエットがあつてソロが何曲かあつて、というように構成して、実現が難しいものが出てきたときのために予備の候補も作りました。プログラムの提案というよりはお二人へのラブレターに近いかも。
阿部 それにしても加藤さんが最初に出してきてくれたのが大量で、通常、他ホールさんの公演の打ち合わせでここまで熱心な



公演決め手のプログラム その、虎の巻について

加藤四季（いたみホール担当）が選んだ理由

今回の公演を企画するにあたり、担当の加藤さんは自身が小さいころから集めていた秘蔵のパンフレットやCDの中から、本公演にふさわしい曲をセレクト。まるでラブレターをしたためるように提案書を作り、大阪交響楽団の営業担当や、ソリストの事務所サイドと話を詰めていった。そんな念願が叶い、演奏が決定された曲の中から、加藤さんが特に思い入れのある作品を紹介してもらった。



『Shall we dance?』 『王様と私』より

トニー賞で渡辺謙さんが主演男優賞ノミネート！で話題の作品。イギリスの女教師がシャムの王様に手ほどきをしながら共に踊るこの曲。其々の文化や伝統の違いを尊重しながら踊る世界は、今の時代にこそ大切かも。今井さんのキュートさ、シルビアさんの気品をぜひ。



『STARS』 『レ・ミゼラブル』より

ジャン・バルジャンが“光”ならそれを追うジャベールは“影”。彼は法に従い生き、決して冷酷な者ではない。自らが信じる正義をバルジャンに崩されていくジャベールの葛藤。清廉さゆえの苦しみを表現し、どこまでも深い歌声で劇場を埋めた伝説の今井ジャベールによる吸い込まれそうな星空を感じてください。



『レベッカ I』 『レベッカ』より

波音やカーテンがそよごうな流れる音楽と共に舞台の時は進む。だがシルビアさん演じるダンヴァース夫人の時間だけは凍てつき、その声と存在感に圧倒され座席から立ち上がれなくなったシアタークリエでの初演。夫人が突きつけるレベッカの気配はヒッチコックも真つ青な恐怖と快感。今回夢の復活です！



『闇が広がる』 『エリザベート』より

仄暗いエロスとタナトスが空間に満ちるウィーンミュージカルお得意のどこか演歌調ロック！本来は死（トート）とルドルフ皇太子の生命と歴史の駆け引きが歌で繰り広げられる男性2声の曲ですが、それを艶ヴォイスお二人におねだり！宝塚も女声2声！男女で出来るのはお二人だからこそ。

ジュエリーが できるまで

文／伊丹市立工芸センター 向井智子

伊丹市立工芸センターには「伊丹ジュエリーカレッジ」というジュエリー制作を学べる工房があります。ここで1年間、ジュエリー制作の基礎をみっちり学んだ学生たちは、修了後、就職したり、個展やグループ展を開いたりと様々なフィールドで活動しています。また、同カレッジでは、修了生の活動をサポートするために、伊丹市内の各種イベントや公共施設のショップ等で作品を展示販売する機会も多数設けています。今回は、そのような市内での活動で積極的に作品を発表している、同カレッジ修了生樋口麻人さんの制作現場に密着しました。「昆虫ジュエリー」の制作をとおして、ジュエリーができるまでの工程をご覧ください。



(1982年 私) 1982年、油彩・カンヴァス、石川県立美術館所蔵

自己を見つめる画家

その鴨居玲が没して本年2015年で30年が過ぎる。混沌とした閉塞感に苛まされる

鴨居玲は、全身全霊をかけて描くべき存在として、老人、道化師、廃兵、酔っぱらいなどを画題に定め、そこに自己のすべてを投影せんと格闘した。作品はどれもが自画像といえ、かつ人間の普遍性を生々しく描き出した迫力に満ちている。

この多い現在、鴨居玲の絵画は、今なお多くの人々の共感を呼んでいる。それは、自己追及の苦悩から生み出された深く暗い色調の画面にこそ、見る者を強く鼓舞してくる、生きることへの光明が見出されるからだろう。

本展は、10代の自画像から、スペイン、ラ・マンチャの村人との交流から生まれた傑作群、ユーモアさえ感じさせる「踊り候え」、晩年の大作「1982年私」、絶筆の「自画像」に至るまで、代表的な油彩画、バステル画を展示。加えて、師の宮本三郎の薫陶もあり、金沢での学生時代から神戸で57歳の生涯を終えるまで欠かすことのなかったデッサンを、未発表作品も含めて紹介することで、鴨居玲という稀有な画家の全体像を浮き彫りにする回顧展である。

学芸員日々是 作品随想

文／伊丹市立美術館学芸員 多忠秋

「自分をシチュー鍋で煮詰めて」とは、鴨居玲(1928-1985)に対する司馬遼太郎の評である。自己探求の画家・鴨居玲にこれほどふさわしい言葉はない。

鴨居玲は、全身全霊をかけて描くべき存在として、老人、道化師、廃兵、酔っぱらいなどを画題に定め、そこに自己のすべてを投影せんと格闘した。作品はどれもが自画像といえ、かつ人間の普遍性を生々しく描き出した迫力に満ちている。



1 デザイン案をシルバーの板に貼り付けます



2 切り抜く部分にドリルで穴をあけ



3 糸ノコで切り抜きます



4 ヤスリで切り口を整え



5 模様を彫ります



6 石を入れて留めたら



7



8

「蝶のネックレスの完成まで」に要したのは3日間。

この「蝶のネックレス」をはじめ、「昆虫ジュエリー」は伊丹市昆虫館のミュージアムショップで販売中。

2016年4月開講

伊丹ジュエリーカレッジ第17期受講生募集中

受講を検討されている方を対象とした説明会・体験講習。ご見学のお申込みは、工芸センター(072-772-5557)へ。
http://mac-itami.com/file/j_college.html

工芸の企画展と講座など

伊丹市立工芸センター

宮ノ前 2-5-28 ☎072-772-5557

伊丹市制施行75周年記念 「没後30年 鴨居玲展 踊り候え」

10月31日(土)～12月23日(水祝)。

休館日：月曜日(11月23日は開館、翌24日は振替休館)

開館時間：10:00～18:00(入館～17:30) 一般 800円、大高 450円、中小 150円

諷刺とユーモア

伊丹市立美術館

宮ノ前 2-5-20 ☎072-772-7447

